第 35 号
令和 7 年 3 月

北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者
北野地区町内会連合会
会　長　岡　本　　諒

題字　木村信也氏（南北野）



北野地区町内会連合会
会長　**岡本　　諒**

思いやりの心が溢れる北野地区に

北野地区は清田区の中でも高齢化の進んだ地区ですが、一方で子育て世代の人口も増えてきております。北野の歴史を作ってくれた高齢者と、若い世代が理解・協力し合ってまちづくりを進めていかなければなりません。

○北野地区の二つの宝

一つは「未来に大きな可能性を秘めた子ども」です。子どもは親にとっては勿論ですが地域にとっても宝です。成長した時、育ったふるさとを、育ててくれた人々を自慢できるような「ふるさと」づくりは私たちの責務です。

もう一つは、豊かな経験に基づく「多くの知恵」を持ち、北野の歴史を築いてくれた高齢者です。高齢者の皆さんが心豊かに生活できる街づくりも私たちの責務です。若い世代と高齢者がお互いを思いやる気持ちをもって、信頼関係再構築し、絆を深めていくことが必要です。

○頼りになるのは「ご近所の力」

「子どもから高齢者・障害を持った人にも安心・安全に明るく住みよいまちづくり」を目指し、関係機関とも繋がる活動を北野町連は積極的に取り組みます。

高齢化が進み災害時に助けが必要な人も増えてきています。自然災害に対し、日頃から防災意識を強く持ち、自分の命は自分で守る事が必要ですが、災害時頼りになるのは「ご近所の力」です。日頃から顔の見える近所付合いで思いやりの心を持って見守り・声掛けをお願いいたします。

「北野地区のホームページ」の QR コードです。
各行事の予定も掲載されています。

第 34 回青少年音楽のひろば

日付：令和 6 年 12 月 7 日（土）
場所：札幌市立北野台中学校

（参加団体）
1. 札幌北野少年少女合唱団
2. 札幌市立北野台中学校　合唱部
3. 市立札幌清田高等学校　合唱部
4. 羊ケ丘音楽団ジュニアバンド
5. 札幌市立北野中学校　吹奏楽部
6. 市立札幌清田高等学校　吹奏楽局



知野清田区長来賓ご挨拶



札幌北野少年少女合唱団



羊ケ丘音楽団ジュニアバンド



市立札幌清田高等学校　吹奏楽局

※北野町連だよりは、さぽーとほっと基金の助成により作成しています。

令和７年新年交礼会

日付：令和７年１月５日（日）
場所：新さっぽろアークシティホテル



北野町連岡本会長挨拶


懇親風景



余興　白波五人男



カラオケ　知野清田区長

冬の交通安全総決起大会

日付：令和６年 11 月 14 日
場所：清田区役所



受賞おめでとうございます

北海道社会貢献賞（地域活動推進功労者）
北野地区町内会連合会相談役
東北野町内会　石橋　邦彦 様



北海道警察本部長／北海道防犯協会連合会理事長連名表彰
防犯功労者表彰　北野中央自治会　岡本　　諒 様

令和６年度ます花壇優良制作者表彰
北野団地自治会 様

北海道交通安全推進委員会会長賞（10 年以上活動）
北野地区交通安全指導員
東北野町内会　佐藤　憲弘 様

札幌市交通安全運動推進委員会会長賞（5 年以上活動）
北野地区交通安全指導員
南北野町内会　細川えみ子 様

クリーンさっぽろ実践模範地区表彰
上北野町内会 様

令和６年度札幌市統計功労者表彰（15 年従事）
東北野町内会　川村　智子 様

理事研修会

日付：令和６年 11 月 12 日
場所：北海道大学博物館





福まちより

●福祉まつり（10 月 27 日）



布絵コーナー



物忘れ測定



講演　キツネとエキノコックス


ウインナ飾り切り

●認知症高齢者声掛捜索訓練
（八望台会館 10 月 5 日）



●地域ケア会議（12 月 10 日）



●きたのクラブ運動会（11 月 27 日）



●児童会館クリスマス会（12 月 17 日）





北野地区介護施設（特別養護老人ホーム）紹介



清 幌 園（北野7条4丁目）

施設長　柏倉　明人



社会福祉法人厚仁会　特別養護老人ホーム清幌園は、昭和48年、札幌市で5番目の特別養護老人ホームとして、北野の一角に設立されました。高度経済成長の折、札幌市の大規模な住宅政策により北野団地が造成された頃です。それから半世紀、三角屋根が並んでいた住宅は建て替えが進み、子ども達が巣立ち、北野は落ち着いた、成熟した街に姿を変えました。地域の変化と共に歩みながら、昨年、社会福祉法人厚仁会は設立50周年を迎えました。地域の皆様、先人の方々には改めて深く感謝申し上げます。

我々厚仁会は、これまで地域貢献事業を法人の活動として捉え、こども食堂や認知症理解のための事業等を地域の皆様と協同し、活発に展開してきました。

私は今、私どもの職場が地域の皆様から「清幌園さん」と親しみを持って呼ばれることをとても誇らしく感じています。それは厚仁会の先人と地域の皆様が培ってきた絆の証です。時代は変遷を重ね、今やAIが人に代わって思考できるまでになりましたが、これからも変わらぬ姿勢として、人と人との生身の繋がりを大切にし、“誰にとっても優しい施設”でありたいと願っております。



今後とも、皆様の変わらぬご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

緑 愛 園（北野1条1丁目）

施設長　芦崎　祐公



北野地区の皆様には日頃より緑愛園の運営にご理解を賜り感謝申し上げます。

さて、平成2年に社会福祉法人ほくろう福祉協会で開設した「特別養護老人ホーム緑愛園」（北野1条1丁目）も早いもので35年が経過しようとしております。30年を経過した頃から施設の老朽化は否めず、毎年の修繕に悩んでおりました。また、当時は北海道の建造物にエアコンをつけるという考え方はなかったため、当施設も例外ではなくエアコンのない施設であります。その結果、近年の猛暑に特別養護老人ホームに入居いただいている方々をはじめ、デイサービスなどをご利用いただいている利用者様、そして働く職員には過酷な思いをさせてきました。そのため、緑愛園の建替え計画を令和6年度から進めております。令和7年7月（予定）に清田区平岡1条2丁目75-7に移転施設を建てることとなりました。現在の地を離れることに戸惑いもありましたが、どうしても現在の土地面積的に建設することが出来ずこの地を離れる決断をいたしました。新天地でもこれまで培った地域福祉の根幹を忘れることなく健全な運営に励みたいと思います。どうか北野の地は離れても変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。



令和7年7月完成予定

北のカミーノ（北野3条3丁目）

施設長　中島亜希子



この度、令和6年10月に新規開設いたしました北のカミーノです。私ども、社会福祉法人友朋会は、設立されてから今年で31年目となりました。

「北のカミーノ」の、カミーノはスペイン語で「道」という意味です。

サンチャゴ巡礼の道「エル・カミーノ・デ・サンチャゴ」に由来しており、聖地サンチャゴを目指道のことです。「北のカミーノ」のシンボルは、その道しるべの「ホタテ」をイメージしております。

北海道では初めての施設ですが、法人理念の「個を尊重し　今を大切に　共に生きる」を心に留め、ご入居者とご家族、そして私たち職員が一つとなり日々の支援をさせて頂きます。

小グループで構成されたユニット型個室の特養で定員100名、全室個室、すべての居室にはトイレ、洗面所、エアコン、タンスが完備されています。全館で6つある浴室のシャワーヘッドはミラブルを取り付けており、全て個浴でプライバシーが守られ、ゆっくりと入浴して頂けます。また「食べることは生きること」食事においてのレクリエーションも盛んに実施いたします。個別性を大切に、敬う気持ち、感謝の気持ちを忘れず、職員一丸となりサービスの提供いたします。

（問い合わせ先：375-8420）

